

予 算 決 算 常 任 委 員 会

1. 日 時 平成29年12月15日（金）

午前9時30分 開会 午前11時03分 閉会

平成29年12月20日（水）

午後1時30分 開会 午後1時39分 閉会

2. 場 所 本会議場

3. 出席委員 【予算決算常任委員会】

灰田昌典委員長、宮西健吉副委員長、南藤陽一委員、井田秀喜委員、木下裕介委員、新田寛之委員、吉村範明委員、浅村起嘉委員、梅田利和委員、吉本慎太郎委員、高野哲郎委員、片山瞬次郎委員、出戸清克委員、二木攻委員、宮川吉男委員、川崎順次委員、橋本米子委員、表靖二委員、浅野清利委員、北出隆一委員、杉林憲治委員

4. 欠席委員 なし

5. 委員会の議題

議案第75号 平成29年度小松市一般会計補正予算（第5号）

議案第76号 平成29年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案第77号 平成29年度小松市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

議案第78号 平成29年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第79号 平成29年度小松市水道事業会計補正予算（第2号）

議案第80号 平成29年度小松市下水道事業会計補正予算（第2号）

議案第81号 平成29年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算（第2号）

議案第93号 専決処分の承認を求めることについて

6. 委員長報告の要旨

予算決算常任委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。まず12月15日に会議を開き、総括質疑を行うとともに、引き続き18日に各分科会を開催し、詳細な審査を行いました。

これを受け、委員会は12月20日に会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。

分科会委員長報告などの主な内容を申し上げます。

■議案第75号 平成29年度小松市一般会計補正予算（第5号）について

小松・能美鉄道利用連携推進費については、2023年春の北陸新幹線小松開業を見据えて、小松市・能美市・小松商工会議所・能美市商工会の4者による（仮称）小松・能美鉄道利用連携会議を年内に設置し、情報収集や調査研究、関係機関との連絡・調整・要望活動を行うとともに、市民フォーラムの開催など市民への広報・啓発を通じ、鉄道利用拡大の機

運を高めていくとのことであります。

鉄道利用の拡大に向けては、能美市との連携のみならず、南加賀全体で連携・協力し、将来を見据えて協議していくよう求める意見も出されました。

■学校指導費の生徒指導推進費について

募集していたスクールソーシャルワーカー（生徒指導アドバイザー）2名のうち1名について、人材を確保できなかったことにより、その賃金見合い分を減額するものであります。生徒指導的な観点から学校を支援するスクールソーシャルワーカー（生徒指導アドバイザー）については、今後益々大きな役割が求められることから、早期に人材を確保するよう求めました。

■総務管理費の一般管理費中、「心の電話」相談費について

ジェット機騒音に対する相談室の防音化に要する経費であります。9月定例会における当分科会指摘事項に対応するものであり、今後も心の悩みを抱える人たちの支えとなる電話相談事業を推進していくよう求めました。

■都市排水路整備費について

近年の気候変動の影響で集中豪雨が頻繁に起こっており、その内水被害から市民の安全、財産を守るために、浸水を防ぐことを目的に排水ポンプを設置するものとのことです。ポンプは九竜橋川流域の沖町に8インチの排水ポンプを1基、石橋川流域の日の出町に10インチの排水ポンプを2基設置するとのことです。今回の上流部分の対策だけではなく、下流部分の浸水軽減を含め、全体的に計画を進め、順次、予算化をし、浸水対策に努めていくよう求めました。

■市単道路整備費の債務負担行為補正について

国の補助事業に該当しない小規模事業について、債務負担行為を活用し、工事発注件数が少なくなる時期に契約を確保し、通年における工事発注の平準化に努めているとのことです。

今後も、年度変わり等の工事の閑散期に、集中して業務を発注するよう求めました。

採決の結果、議案第76号から議案第81号まで、及び議案第93号の以上7件は全会一致をもって、議案第75号は賛成多数をもって、いずれも原案どおり可決・承認すべきものと決した次第であります。

最後に、次年度に向けては、事業の検証を十分に行い、しっかりと精査し、次年度の予算編成に反映するよう強く求めるものであります。